

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	1. 入所者及びご家族を対象にした、介護に関する家族介護教室のマニュアルを作りました。 2. マニュアルを元に、当スタッフが中心となり、地域の一人暮らしの高齢者、地域住民を対象に、昨年10月「家族介護支援のつどい」を開催しました。今後共活動を続けられる様取り組みたい。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	1. 外部評価の調査結果を踏まえ、スタッフ会議にその内容を公開し、指摘を受けた点を含め改善に取り組むべき話し合いをしている。また、運営推進会議にも議題として取り上げ、各委員の意見を拝聴し、スタッフ会議に活かせるように取り組んでいる。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	1. 委員の構成メンバーは役場の係長、手広く色々な事をしている民生委員、社会福祉士の資格を持つ見識者で構成した推進会で外部評価の調査結果を報告し、色々な意見を聞いて少しずつでは有りますが、サービス向上に繁栄させている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	1. 平成18年4月、地域密着型となりましたので、市町村担当者と運営推進会議以外で、話し合いができる必要な部署等に働きかけて行きます。		1. 地域密着型以降、市町村担当者と運営推進会議以外で、情報交換は十分ではありませんので、今後とも、出来るよう努めて行きます。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	1. 地域福祉権利擁護事業や成年後見制度については、資料を収集し、勉強会で職員に周知しています。 2. 昨年10月「家族介護支援のつどい」を開催した時、スタッフ、ご家族及び関係者に説明して、活用できるよう努めています。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	1. 県、町を始め、広域連合本部等からの資料等を収集し、マニュアルを元に勉強会で職員に周知しています。 2. 事業所に関しては、職員に周知徹底し、虐待はいかなる理由があろうとしない方針を徹底しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>1. 入所希望時に事業所の契約に関する内容を十分に説明し、さらに、入所時(退所時)も納得いかれるまで話し合いをしています。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>1. 利用者の意見、不満、苦情はスタッフが聞いていますが、そのことは必ずご家族に報告し、些細なことはホームで対応し、その結果は必ずご家族に報告しています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>1. 入所者の預り金に関しては、現金出納帳を未締めで翌月の請求時に領収書添付の書類で報告し、確認印を頂いています。暮らしぶりや健康状態については、もくれん月報でさらに、面会時を利用したり来れない方は定期的に電話で報告しています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>1. 事業所に苦情処理要綱を整備しています。苦情処理担当者を選任し、職員一丸となって受け入れられる体制を整えています。</p> <p>2. ご家族の意見、不満、苦情は当然に、ホーム関係者はもちろんのこと、他の苦情処理機関にも相談出来る様になっています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>1. 午後1時30分頃からスタッフミーティングを励行しており、その場で、色々と意見、提案を収集しています。記事録を残していますので、出勤でなかった職員も閲覧出来る様になっています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>1. 管理者、責任者、主任とこの3名により、常に、利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応が出来る体制を整えています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1. 出来るだけ、管理者及びスタッフが定着するように、待遇、福利厚生を充実させよう努めています。</p> <p>2. 異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、離職の場合は、利用者へのダメージをできるだけ防ぐ配慮をしています。</p>		
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。</p> <p>また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>1. 職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象にしていない。</p> <p>2. 事業所で働く職員についても、その能力を發揮できるよう努め、職場の良い雰囲気をつくれるよう人間関係に留意している。</p> <p>3. 研修、講習会を出来るだけ奨励し、社会参加(ボランティア)活動ができるよう努めている。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>1. 午後のスタッフミーティングで、人権に関する話し合いを行い、常に、教育、啓蒙活動を継続して行きます。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>1. 管理者及び職員は、それぞれの事業所内研修を段階に応じて行い、実務をとおしてスタッフミーティングで、トレーニングしていくことを進めている。</p> <p>2. 主任、ケアマネージャーに関しては定期的に外部研修に参加させている。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>1. 管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持てるように、また、施設等の相互訪問を行うよう努めて行く。</p> <p>2. 専門家による、勉強会を断続的に計画し、10月「家族介護支援のつどい」開催しました。</p> <p>3. 10月近隣の施設の招待により、運動会に全員参加しました。</p>		1. グループホームや施設等の相互交流訪問を、今後、断続的に行う。
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>1. 仕事の進行は出来だけゆったりとした状態で、走り回らなければならない様な任務分掌を避け、負担を軽減しています。</p> <p>2. AM10:00とPM3:00の利用者のティータイムで、全スタッフを一緒に雑談、ドリップで立てたコーヒーを施設から提供しています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	1. 本事業所は非常勤から職員になるケースが多く、やる気と実力のある方は年齢、経験年数に関わらず役職職員として登用しています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	1. AM10:00とPM3:00のティータイムで、スタッフ全員で会話し、それぞれの利用者との話し合い中から本人のニーズを引き出せるように努めている。 2. スタッフ全員が勤務の時、1日必ず利用者に1人最低10分の関わり合いを持つことにしている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	1. 入所時、書面において、グループホームの役割等の説明を十分に行い乍ら、何時でも話しができる機会を設けそのニーズに答えている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	1. 入所時、アセスメントを十分に行い、本人と家族のニーズを確認して、介護計画を作成している。		1. 他のサービス利用も含めた対応を今後努める。
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	1. 入所から1週間程度の観察期間が経過した時点で、仮プランから介護計画を作成している。支援経過に基づき、本人が安心し、納得できるような内容にし、サービスを利用する場合は、職員が他の利用者、場の雰囲気に徐徐に馴染めるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	1. 介護日誌により本人の状態を把握し、すべての入居者と関わり合いを持ち、出来るだけ語りかけ、その中から教えて頂くことも沢山あります。気軽になんでも話し合える関係になるよう努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	1. サービス担当者会議をはじめ、ご家族には月報により本人の状態を報告し、すべての入居者と関わり合いを持ち、本人とのコミュニケーションと信頼構築に努めている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	1. 面会時、月報をそれぞれ配布しにより、介護支援経過に基づき、本人の近況報告をはじめ、本人に関して良い点、悪い点があればつつみ隠さず報告し、ご家族の意見交換に努めている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	1. ご家族は当然のこと、友人知人が見えられた時、次回の来訪をお願いしたり、空き家になっている自宅に時々、風通しのため出向いたりして帰宅復帰の可能性を促しています。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	1. 仲の良い本人同士は出来るだけ席を隣にしたり、一緒にできることをして頂いたりして常に関わりが持てるよう配慮している。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	1. 退所されても、本人やご家族に、手紙を書いたり、在宅の場合は時々訪問し、施設、病院の場合も時々面会を心がけている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1. 本事業所は施設管理式でなく、家の延長としての生活環境を出来るだけ整えています。生活様式も利用者本位の意向に添うよう努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	1. 入所時のアセスメントの生活歴の聞き取りから、数ヶ月の観察経緯で得られた本人からの情報の把握に努め、また、ご家族の新たなる情報をも収集したものをケアに反映させていただきます。		1. 生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境についてはこれまで指摘を受け改善に取り組んでいますが充分でないため、今後改善して行きます。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1. 支援経過に基づき、一ヶ月ごとのモニタリングで三ヶ月目の総合見直しを行い、認知症状の進行状態を定期的にチェックしている、長谷川式スケールでまた、心身の寝たきり状態の改善の有無を、日常生活動作調査で把握しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	1. アセスメントに基づいて、ケアチェックを行い入居者主体の目標を立て、入居者一人ひとりの特徴を踏まえた具体的な介護計画を作成しています。 2. 介護計画は3ヶ月の見直しとし、サービス担当者会議において、本人、ご家族と話し合い内容を反映している。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1. 介護計画は基本的に3ヶ月の見直しとしているが、急な状態変化が生じた時点で、ケアカンファレンス及びモニタリング(月1回)を行い、介護計画の見直しを行っています。 2. 当然にサービス担当者会議において、本人、ご家族と話し合いを行い対応しています。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1. 業務日誌、介護日誌、健康管理表または、支援経過に基づき日々の観察経緯を把握し、スタッフミーティングで確認しながら反映させています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1. 外泊、外出の奨励をはじめ、ご家族のニーズに答えられる様に対応しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	1. 民生委員やボランティアの方と協力し支援している。 2. 警察、消防、文化・教育機関等と協力し乍ら支援している。		1. 今はまだ十分に文化・教育機関等との協力関係が出来ていません。今後、早急に小竹町関係機関との協力関係を整えます。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	1. 地域の居宅のみならず、町内外の居宅と常に情報交換を行っています。今のところ介護保険内で使えるサービス少ないのが実情であり、他のサービスを利用するための支援をしていない。		1. 入所者のニーズにより、一度過去に訪問リハビリを頼みましたが、保険外と言うことで断われています。 2. これも以前、小竹町に提唱してきたことですが、他のサービスが利用できるのは確か、療養型施設ですが、今のところ利用できるサービスが限定されていますが、費用のかからない他のサービスが利用出来ないか努力していきます。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	1. 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働していない。		1. 地域密着型以降、市町村担当者と運営推進会議以外で、情報交換は、一部のグループホームか居宅しかありませんでしたが、今後は市町村、地域包括センターと連携し、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、情報交換を行って行きます。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	1. 基本的に家族通院介助であるが、家族通院介助が出来ない利用者のみ当ホームで通院介助を行っている。 2. 本事業所は2つの協力医療機関を持っており、総合病院と個人医院とも両医師の関係を構築し色々な相談を受けています。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	1. 本事業所は2つの協力医療機関を持っており、総合病院と個人医院とも両医師の関係を構築しており、両医師とも大きな病院の勤めもあり経験豊富で、認知症に関して色々な相談を受けています。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	1. 本事業所は2つの協力医療機関を持っており、掛かり付けの病院で看護師とも色々な相談を受けています。 2. 本事業所は、夜勤帯に看護師を雇用しており、協力医療機関とは別に、日常の健康管理や医療活用の支援を受けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医師等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	1. 常に声かけし、出来るだけ会話を提供して本人の意向をくみ取るように努めています。 2. 行動は自由に、本人がしたいことを聞き入れ支援しています。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1. 介護計画と週間日課表に基づき支援を行ってはいますが、特別の問題行動がある場合を除き、基本的には行動制限はありません。 2. 講師の見える曜日を除けば、本人のニーズに従い支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	1. 朝起きたら普段着に着替えていただき、外出時は本人の好きな服で正装させています。 2. 理容・美容は本人の望む店に行けるようしています。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1. 職員の数が加わると、調理量が増えますが、ホームは一緒に同じ物を食しています。 2. 会話をしながら、食べ方、食べ残しをサポートしています。また、料理のしたごしらえ、下げ膳は各自で、食器洗いは順番で手伝って頂いています。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	1. 本人の希望により酒は夕食時、たばこは時間を決めて、ご家族の了解の上提供していますし自由です。 2. 飲み物、おやつはDMの方以外は制限はありません。月に2度ショッピングに行きますので、その時に飲みたい物や食べたい物を買わせています。ただ、買った嗜好品の量が多い場合は一部預かっています。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	1. ホームは、脱紙パンツ、脱オムツの支援をしながら、出来るだけPTやトイレできるよう支援している。 2. 排泄の誘導・介助や確認、失禁の対応は、不安や羞恥心、プライバシーに配慮して行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1. 各入居者一人ひとりのペースにあわせ、くつろいだ入浴ができるように支援している。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1. 当ホームは共同生活住居であるため、夜間はゆっくり休んで頂くように、昼はホーム内外の活動を行い、極力昼寝は短い時間にし、安眠剤や安定剤を極力使用しないで休めるように支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1. 生活歴から、本人が興味があった物や得意としたことを見つけ出し(例:パッチワーク、編み物、書道、オルガン等)、今でも興味を示すかどうか見つけ出し、本人がしたいものを行っています。 2. 気晴らしと云えば、春には施設の周りのつくし採りや散歩、また買い物(直方、飯塚ジャスコ、ルミエール等)に行っています。		1. 前回は指摘されたことですが、まだ十分ではありません。 2. 一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごとの支援は、それぞれの個別指導の分野になり、アセスメントや個別指導計画の書類は準備できていますので、QOLに取り組む段階にきていますので、早い時期に実施します。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	1. 日常の金銭管理が出来る方は、買い物に行った時は本人が行えるようにし、見守っていますし、入居者一人ひとりの希望や力量に応じて支援している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1. 本人の希望におうじて、散歩や畑や近くのお店に行き、必要物品や好みの買い物に出る機会を日常的につくり、買い物を楽しく行えるようにしている。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	1. ホームは、紹介した様に、遠くは八女まで、そして色々な所に行っています。 2. 出来るだけ、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられることもあり、また常に進言していますが、ほとんどご家族の都合があり、十分に外出外泊される方は少ないのが現状ですが、気長に勧めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	1. 入居者各自に、机と椅子を必要に応じて貸与しデスクワークが出来るようにしています。 2. 電話は移動式ですので、入居者の必要に応じて使えるようにし、会話は部屋でしています。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	1. 友人知人、ご家族が気楽に訪問できる環境を整えています。 2. 7畳の居室での、談話もホール内の応接にも気楽に談笑できるようにしています。 3. ちなみに、面会は自由です。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	1. 当ホームは身体拘束ゼロを宣言しています。 2. 当然身体拘束のないケアを実践しています。 3. ただ、入居者の生死等に関わる事態が生じた場合は、必要に応じて、ご家族に書類でもって説明できるよう対処しています。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1. 当ホームは、日中の玄関の施錠はしていませんし、各居室の窓も柵がありません。 2. 各居室は内外で施錠ができるようになっています。 3. 外出を察知した場合は、ドアを開くとチャイムがなるようにしていますので、入居者の動向に注意し、必ず同行し見守り厳守です。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1. 当ホームは、居室から出ると対面式の構造ですので、一人ひとりがホーム内の場所が分かるようになっています。 2. 食事及び就寝以外は、出来るだけホールで過ごしていただき、かならず居場所の確認をしています。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	1. 注意の必要な物品は、危ない物は置く場所を選定し、一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	1. リスクマネジメントとしてのマニュアルはあります。 2. リスクマネジメントとの講習会には参加しています。 3. 知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいきます。		1. 転倒、誤薬、火災については取り組んでいるが、窒息、行方不明の場合事例がありませんのが、今後、状態に応じた事故防止に取り組んでいきます。 2. 看護師(非常勤)が入りましたので、転倒、窒息、誤薬の対応の訓練を行っていきます。
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	1. リスクマネジメントとしてのマニュアルはあります。 2. リスクマネジメントとの講習会には参加しています。		1. 応急手当や初期対応の訓練が十分ではありませんが、今後、消防署を始め関係機関とも連絡し対応して行きたいと思います。 2. 看護師(非常勤)が入りましたので、応急手当や初期対応の訓練を行っていきます。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	1. 火災時は避難訓練により、安全な避難方法を身につけている。 2. 地震、水害時の避難訓練も身につけていきます。 3. 地域の消防団をはじめ、隣組の方の協力が得られるよう連絡を密にしています。		1. 地震、水害時の避難訓練は一施設では限度がありますので、今後、消防署をはじめ、小竹町とも対策を話し合って身につけて行きたいと思います。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	1. 本人の状態を説明し、歩行困難者ではできるだけ機能訓練し、移動、移譲時はほとんど見守り施行しています。 2. ホールにおいては転倒がないよう整理し、居室においても整理整頓し、ベットからの寝返り等の転落がないよう注意している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	1. 朝、毎日バイタルチェック(血圧、検温、脈拍)を行い、変動者は毎日管理者に報告させ指示をだしている。夜勤者の申し送りはスタッフ全員でチェックし対応させています。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1. 薬の働きや飲み方は、調剤薬局の表に基づき薬の用途を理解しています。 2. 医師の指示どおりに服薬できるよ、個別の月別薬管理袋で投与しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	1. 食事に繊維性の食材を取り入れたり、水分補給を十分に摂取出来る様排便の管理、健康管理表で便秘の管理をしています。 2. 便秘症の方がほとんどで、医師の指示による投薬(カマグ、マグミット)で排便調整を行い、朝夕に出来るだけ散歩を励行し、全員にリハビリを慣行している。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1. 各食事後に口腔ケアの実施。その時に出血や炎症のチェック等をしています。 2. 必要に応じて手洗いとうがいの励行。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1. DMの方で医師の指示がある場合は献立を工夫しています。(1400kcal以下/日、水分1000~1200 $\frac{1}{2}$ l/日を目標) 2. 魚類、野菜等を主体にして献立を組みます。好き嫌いの在る方も調理に工夫をしてできるだけ食して頂ける様にしています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	1. リスクマネジメントとしてのマニュアルは整備しています。 2. リスクマネジメントの勉強会も行い対応が出来る様になっています。		1. 事例として(インフルエンザ、疥癬)しかありませんが、今後、スタッフの看護師と相談し、新型インフルエンザ、肝炎、MRSA、ノロウイルス等の予防と対策を考えていきたいと思えます。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1. 調理はほとんど火を通した献立に努め、仕入れた食材は日付を打ち仕入れたものより使用し、賞味期限の過ぎた物を使用しない。 2. 食器は食器乾燥機で滅菌処理し、まな板等は定期的に消毒しています。ゴミはその都度処理し、残飯がシンクに残らない様また、ゴミはその都度外のゴミ箱に処理しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	1. 当ホームは家庭的な雰囲気出す様犬を飼っています。近所の方が散歩の途中立ち寄って、お預けや、おでの躰をしています。 2. 玄関まわりや建物の周囲には、植木や季節の花々を植え、家庭的な雰囲気づくりの配慮をしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1. 共用の生活空間(玄関、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、出来るだけ家庭的な雰囲気を出せる様しています。 2. 調度や設備、物品や装飾も出来るだけ家庭的な雰囲気を出せる様しています。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1. 共用空間の中に、入居者同士で自由に過ごせるような居場所はホール内に確保しているが、十分ではありません。		1. ホールのベランダを増築して、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の確保を計画しています。早ければ21年度中に完成させたい。
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	1. 当ホームは居室が7畳と、大変広いです。入居者の使い慣れた家具や生活用品、装飾品等を少々持ち込まれても十分であり、ゆっくり過ごせる様にしています。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1. 各居室に換気扇を設置、換気は適宜に、天気の良い日は窓を開けて換気行っています。 2. ホーム内においても、換気扇等で換気を常にしています。 3. 各居室及びホーム内の冷暖房の温度調整を適時に行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	1. 入居者の身体機能の低下にあわせて、できるだけ自立した生活を送れるように設備や工夫をしています。当ホームはすべてバリアフリー、ホール回りはすべて手すりの設置、トイレは身障用です。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	1. それぞれの生活行動に自信を持たせ、手工芸にしても最後までやり抜いて頂く様にしています。		
89	建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	1. 建物の周りは花壇をがあり、季節の花々を植え鑑賞出来る様にしています。ベランダは芝を植えて落ち着く雰囲気を出している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. サービスの成果に関する項目				
項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。		
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の		
		利用者の2/3くらいの		
		利用者の1/3くらいの		
		ほとんど掴んでいない		
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある		
		数日に1回程度ある		
		たまにある		
		ほとんどない		
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が		
		利用者の2/3くらいが		
		利用者の1/3くらいが		
		ほとんどいない		
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が		
		利用者の2/3くらいが		
		利用者の1/3くらいが		
		ほとんどいない		
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が		
		利用者の2/3くらいが		
		利用者の1/3くらいが		
		ほとんどいない		
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が		
		利用者の2/3くらいが		
		利用者の1/3くらいが		
		ほとんどいない		
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が		
		利用者の2/3くらいが		
		利用者の1/3くらいが		
		ほとんどいない		
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と		
		家族の2/3くらいと		
		家族の1/3くらいと		
		ほとんどできていない		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。		
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように		
		数日に1回程度		
		たまに		
		ほとんどない		
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている		
		少しずつ増えている		
		あまり増えていない		
		全くいない		
100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が		
		職員の2/3くらいが		
		職員の1/3くらいが		
		ほとんどいない		
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が		
		利用者の2/3くらいが		
		利用者の1/3くらいが		
		ほとんどいない		
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が		
		家族等の2/3くらいが		
		家族等の1/3くらいが		
		ほとんどできていない		

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

1. 月報でお分かりになると思いますが、年一回の旅行。今年は、佐賀県の吉野ヶ里遺跡と大和公園の花菖蒲鑑賞。柳川川下り（車椅子乗船）体験、柳川簡保に宿泊。夜は宴会で盛り上がり、カラオケで歌を熱唱しました。
2. 平均して月一度のバスハイクで多いときは三回あった月もあります。近くは、直方チューリップ祭り、箱崎宮のあじさい、遠くは、大刀洗のキンピー
ル工場の春はポピーと秋はコスモスの二回行きます。更に遠くは、久留米高良山森林公園つつじ、八ゼ並木、八女黒木の大藤、グリーピア八女つつじとシャクナゲでこれは一部です。
3. 陶芸家指導の陶芸教室で、釉薬とガス釜がありますので本格的に作陶ができます。作業療法の一環です。
4. 有るところもあるかも知れませんが、ゲートボール場を造りました。あくまでもリハビリ療法の一環です。
5. 8月から、飯塚市筑豊ハイツの水泳教室に週/1回、機能訓練の一環として行っています。